

平成26年度ホタテガイ採苗情報（第10報）

平成26年7月9日

発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合



稚貝の付着は継続中であるが、終盤とされます。ムラサキガイのラーバが大幅に増加しています。

< 調査結果の概要 >

- 7月7日の唐丹湾の定点調査では水深0m～50mの水温が12～17℃台で、透明度は13mでした。
- 付着稚貝の出現数は前回の調査から再度増加していましたが、ラーバの出現数は大型も小型も減少していったので、稚貝の付着は終盤を迎えていると思われます。
- また、今回の調査ではムラサキガイのラーバ数が1,691/トンと急激に増加していったので、前回の調査結果と同様、今後も付着は継続すると思われれます。

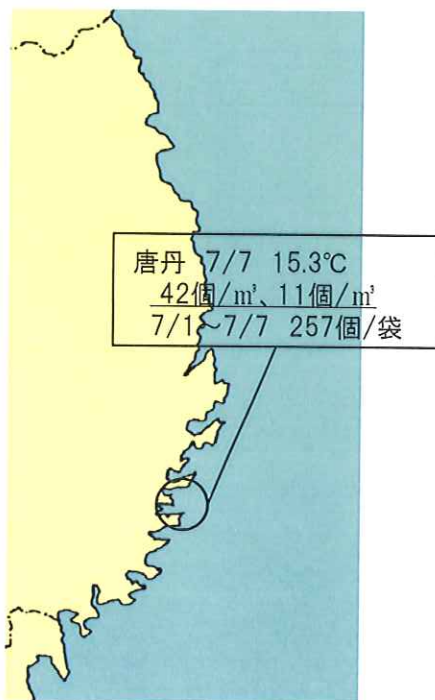


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 10m層水温
 ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

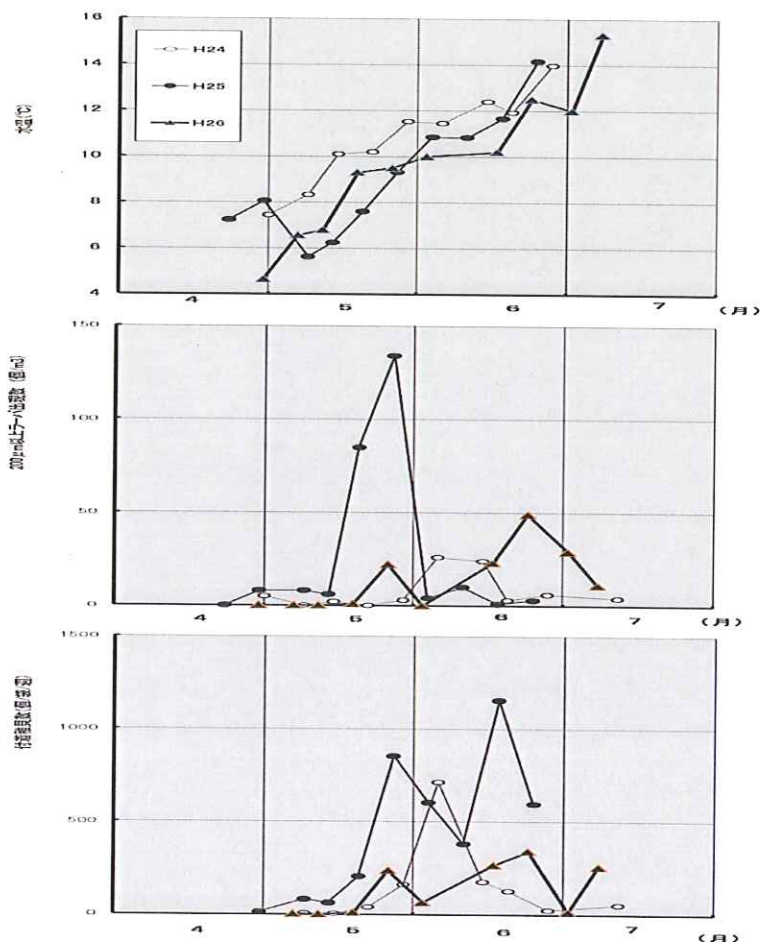


図2 唐丹湾における水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

今回の採苗情報は今回で終了となります。7月下旬に付着状況調査を行い、臨時採苗情報を発行する予定です。